

# まちのスケッチブック

あたらしいまちづくりをめざす VOL-8

泉佐野市議会議員 **ちよまつ ひろやす**  
**千代松 大耕** (28歳)



平和な市民生活を恐怖と不安に陥れた9月11日に米国で発生したテロ事件は、21世紀の新たな脅威として人類共通の新しい課題となっております。そしてテロ撲滅のため取り組んでいく国際社会の一員として日本がどのように取り組むのか注目されておりました。

テロ撲滅のために出来る限りの支援と協力をするためテロ対策特別措置法の制定や自衛隊法、海上保安庁法の一部を改正しましたが、このことは日本がこうした非常事態に対応する国内法の整備が十分でなかったことを示しました。

国際社会全体がテロ再発防止のために積極的に取り組んでいる中であって、今回の法的整備は国際社会において平和と秩序を維持するための協調活動への大きな前進であると私は考えます。

## 決算特別委員会

泉佐野市においては、11月5日(月)から7日(水)の3日間に渡り、平成12年度の各会計歳入歳出決算の審査をする決算特別委員会が開かれました。委員会は議員定数の約半数で構成され、各会派から1〜3名ずつ(会派人数により異なります)選ばれます。自民党内では昨年は佛願議員と松谷議員が決算委員でしたが、今年は熊取谷議員と私が委員として審査にあたりました。

平成12年度の一般会計の決算は歳入が368億4248万円で、歳出が396億1525万円で前年度に比べて歳入43億5459万円(10.6%)、歳出20億7830万円(5.0%)減少しており、実質収支は28億1154万円の赤字となっております。また単年度収支は22億7777万円の赤字で、赤字幅も17億1227万円増加し、非常に厳しい状況になっていきます。

そして平成11年度は基金の取り崩しなどを行い赤字縮小に努めましたが、平成12年度は起債の発行などにより財源確保ができましたが、基金に留保することによって、後年度の財政負担や緊急時の財源として備えています。(予定以上の早期退職者が出た時の退職金に充てるなど)その結果として平成12年度は普通会計(一般会計+公共用地先行取得事業特別会計+公園墓地事業特別会計)ベースで27億9千万円の赤字となり、2年連続の赤字決算となりました。平成13年度も赤字決算となることは間違いないですし、このままではいくと再建団体転落のライン(標準財政規模の20%で現在は約44億円)には平成14年度で到達してしまいます。再建団体に転落してしまえば、2月議会で上程されるであろう様々な料金の改定以上の負担を市民のみならず負ってもらわなければなりません。泉佐野市は早急な建て直しによって、未来へのツケを最小限にする努力が今必要とされているのです。

3日間慎重審議を重ね、決算特別委員会では最終日の採決において平成12年度各会計歳入歳出決算の認定を可とすることとなりました。

### 平成12年度一般会計歳出決算

款	支出済額	全体に占める割合(%)	款	支出済額	全体に占める割合(%)
議会費	3億6905万2944円	0.9%	消防費	14億8821万800円	3.8%
総務費	47億8757万7603円	12.1%	教育費	053億4047万9946円	13.5%
民生費	102億4106万9742円	25.9%	公債費	0052億942万5504円	13.2%
衛生費	42億7331万9228円	10.8%	諸支出金	12億2497万円	3.1%
労働費	2524万8490円	0.06%	前年度繰上充入金	4億9647万9464円	1.3%
農林水産費	3億7280万9037円	0.9%	予備費	-	-
商工費	2億9487万6122円	0.7%	歳出合計	396億1525万7166円	-
土木費	54億9173万8286円	13.9%			

### 決算特別委員会で私がした主な質問は次のとおりです。

**千代松:** 平成12年度の市税前納報奨金の利用件数は?

**答弁:** 対象件数が4万2千件中、利用件数は約2万7千件で率にして64.5%である。

**千代松:** 同和保育所の保育料は現在、一般の保育料とかなりの開きがある。平成13年度から8年間かけて一般の保育料まで引き上げていくという措置がとられているが、危機的な財政難という非常事態の下で全体的に事務事業を見直す中、この「8年」を「7年」や「5年」という具合に一定の見直しなどは行わないのか?

**答弁:** この「8年間」で一般保育料まで引き上げていくという取り決めはこの1、2年で決まったわけではない。長い年月をかけての約束事である。このままでご理解願いたい。

**千代松:** 健康増進センターは光熱水費の節減で効果があがっている。他の社会教育施設でもそのような取り組みは行っているのか?

**答弁:** 他の館でも光熱水費の節減は行っている。一館あたり年間約50〜60万円の効果が起きている。

## あたらしいまちづくり(7)

今回は友人の辻宏康和泉市議会議員の紹介で環境ISO-14001認証の取得への取り組みを勉強するため和泉市庁を訪問してきました。環境ISO-14001は、組織(企業、自治体等)が構築し、実践する環境マネジメントシステムに対しての要求事項を規定しており、その概要はPlan(計画)-Do(実施・運用)-Check(測定・調査)-Action(見直し・新たな計画)というPDCAサイクルに沿ったものです。組織は、自ら構築したシステムをPDCAにより運用、管理し、常に高いレベルをめざして継続的に環境保全活動に取り組むことを求められています。国際標準化機構(ISO)は、各国それぞれの認定機関の設立を認め、組織がISO-14001の認証を取得しようとする場合は認定機関からの審査を受審して、ISO規格に適合することを証明しなければなりません。取得後はあらゆる場面で環境面への負荷が減り、大量消費・大量放棄がなくなり、大きな成果を見込めます。また民間企業は会社のイメージアップにもつながるといったメリットにもなります。

大阪府下では現在、大阪市のほかに、吹田市や高槻市が認証を受けており、泉州地域では和泉市が最も早く認証を受けることとなります。(堺市も2月ぐらいには取得するそうです) 認証取得に向けては「時間」「人」がかなりかかり、コンサルタントを入れて取得を目指すといったケースが多いらしいですが、和泉市は職員二人とバイト一名で取得へ向けた取り組みを行なってきました。

和泉市の環境ISO対策担当の一坊参事は「環境ISOの認証を目指してやってきたが、その中で気付いたことは、民間は認証を受ければ信用度が上がる。しかし行政としてはあたり前のことをやるだけ。」と言われました。私も市政に上がらせてもらう前はISO-14001の認証を受けた民間の企業で働いていました。現在の泉佐野市の市役所とそういった民間の企業を比べると、市役所の方が随分と「あたり前」の事が出来ていない状態であります。

環境ISO-14001への取り組みを目指すことは環境面に対する職員さんの意識向上への大いなるモチベーションとなることは間違いありません。泉佐野市が21世紀型行政の波に乗り遅れずに、こういった取り組みを推進するよう今後も提言を続けて参ります。



和泉市庁



辻宏康和泉市議会議員と

### まちの掲示板

りんくうタウンの「りんくうプレミアムアウトレット」と関西空港を結ぶ無料シャトルバスが11月17日から運行されています。関空とアウトレットの互いの活性化につなげようと「エアロプラザ」のテナント会とアウトレットを運営する「チェルシージャパン」が計画したもので、土、日曜日と祝日に1日8往復運行されます。無料乗車券の配布場所は左記のとおりです。

- ★エアロプラザ2階  
サービスカウンター
- ★旅客ターミナルビル1階  
A案内所
- ★アウトレット1階  
インフォメーション

### 議会を傍聴しませんか？

12月定例議会は下記に日程で行なわれます。気軽に市役所5階議会事務局までお越しください。

12月3日(月)	行財政委員会	10:00~
12月4日(火)	本会議	10:00~
12月5日(水)	総務委員会	10:00~
12月6日(木)	厚生文教委員会	10:00~

12月7日(金)	建設経済委員会	10:00~
12月11日(火)	関空問題特別対策委員会	10:00~
12月12日(水)	市立病院問題特別委員会	10:00~
12月19日(水) ~21日(金)	本会議(議員一般質問)	10:00~

### 千代松大耕プロフィール

昭和48年10月3日泉佐野市松原生まれ(28歳)  
泉佐野市議会議員 自由民主党泉佐野支部政務調査会長

連絡先 泉佐野市松原2-5-31 TEL.58-1708 FAX.63-1222 ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>  
2001.12第8号 \*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。 メール [chiyoma51@hotmail.com](mailto:chiyoma51@hotmail.com)